

学校関係者評価報告

学校名 愛媛県立今治工業高等学校

評価実施日		平成30年2月22日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	矢野直幸	学校評議員	
	長野加代	学校評議員	
	山本雅晶	学校評議員	欠席
	藤枝晃	学校評議員	欠席
	武田徳夫	学校評議員	欠席
	木村隆仁	P T A 会長	
	西原美知子	P T A 副会長	
	山岡憲司	P T A 副会長	
	田頭玉美	P T A 副会長	
	安野省二	P T A 副会長	
	堀江珠美	P T A 副会長	欠席
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S P H 事業が、他の学科の生徒へも良い刺激となっているようだが、更に学校全体への広がり期待したい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年就職内定率100%を達成していることは、大変喜ばしいし、素晴らしい実績である。 ・ いわゆる学力だけではなく、コミュニケーション能力、処理能力を身に付けた人材を企業は求めているので、そうした生徒の育成をしてほしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が落ち着いてきているようである。 ・ 社会全体に若者が落ち着いてきた半面、活力のある者が少なくなっているように思う。 ・ 重大事故に遭うことのないよう今後も気を付けてほしい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門とも、素晴らしい成績を残している。 ・ 特にスポーツを通してチームワークや発言力など対人スキルを身に付けてほしい。 <p>(5) 工業教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の地域環境は、他地域に比べて恵まれていると思うので、それを十分に活かしてほしい。 ・ 資格取得にも熱心に取り組んでいる。成果も上がっている。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 子供たちに活力を与えるのは大人の責任だ。希望を持たせるような教育を心掛けてほしい。</p> <p>(2) 機械造船科造船コースの学習活動を契機にして地域産業との関係性が更に密になることを期待する。</p> <p>(3) 委員活動やボランティア活動などで、高校生らしい活動を今後も続けていってほしい。</p> <p>(4) 保護者との連携は、うまくいっているが、今後活性化を相互で図ってほしい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の学科においても「匠の技」などの活動があるが、それらを更に充実させていく。 ・ 3年間を見通した、計画的なキャリア教育を実施し、適切な勤労観・職業観を身に付けさせる。 ・ コミュニケーション能力の向上のための具体的な方策の取組を検討する。 ・ 個々の生徒に応じた効果的な生徒指導の在り方を研究し、生徒が自信をもって行動できる指導に努める。 ・ 安全意識啓発の講和やヘルメット着用の徹底など、安全指導に更に努める。 ・ 今後とも積極的に取り組んでいく。 ・ 部内における練習方法や試合対策などの話し合いを積極的に行う。 ・ 地元企業、大学等と連携を図りながら地学地就を目指して取り組む ・ きめ細かい指導を充実させ、多くの資格取得に挑戦させる。 ・ 自分の進路に向かって自分の技術や能力を磨ける3年間になるよう、学校生活を充実させていく。 ・ インターンシップやデュアルシステム、マッチングフェア等の取組を更に充実させる。 ・ 委員会活動等について、生徒が主体的に活動できるようサポートに努める。 ・ 学校の魅力をより効果的に発信するとともに、保護者に対して学校理解や学校アピールを今後とも積極的に続けていく。 	